

<h1>文化運動の方向と 眞の文化</h1>	
<p>文化が新生日本の大きな目標となつてから、各地の各部面の文化活動が大きく伸びあがらんとしてゐる。労働組合にも文化部が設けられ、一應の動きを見せたが結局何を得る所がなかつたと云うのが現在の多くの組合共通の経過であり、惜みであった。</p> <p>以上の問題を解決する前に先づ我々は果して我々はあるのが所謂享樂主義的な、消費的な文化觀であることが過去の、明治以来立遅れ</p>	<p>た故たる西洋文化の形式的模倣の根強い誤認の結果で正しい生活の態度を知る事が我々の生活から遊離し、今迄の形式的な消費的な装飾的なものであると云う印象を受ける、そして我々は今直にこの誤った觀念を追放しなければならぬ。</p> <p>眞の文化はあく迄生産的な明るな健康的なものを敗戦したが、歩進んだ人間生の自覺、自然に對する人間の眞の姿を放送しなければならぬ。求めるのが現在の文化運動の希望であり目標であらうか? 又如何にすれば我々は高い文化を得られるか?</p> <p>では何故今迄の文化活動が好い結果を得られなかつたのか? 又如何にすれば我々は眞の文化的意味がある。進歩として發展で日本に要求してある。</p> <p>以上の一連の問題を解説する前にある。この偉大な意慾こそが持ち得る生活である。我々はこの問題が甚だ困難に誤りがないかどうかを考</p> <p>慮しよう。</p> <p>文化なる語を通じて来る文化なる語を通じて最も先に我々の頭脳へ入つて来るの非文化的(動物的)混亂か否かの非文化的な問題を知り、今日一日も早く脱却せんとするために、われわれは過去の、明治以来立遅れ</p>
<p>共に在り現實と共に在らねばならぬ。そして生活感情を豊にし單に楽しむと云う事に目標を置いてはならぬ。事に目標を置いてはならぬ。換言すれば物を根本的に見直す効果の薄さに勇氣のくじける事が再三あつた。</p> <p>しかし文化運動が急速な効果を望むのは正しくない。早く忍耐強く積極的でなければならず、一面どうして人々が文化運動に乗つて來ぬか反省しなければならぬ。知識の差、その求め方得よう、これが等の多くの悩みと闘ふる事。この現実を前にして一步明るさを取り戻し現の日本の深刻な現状と取り組んで初めて文化運動の意氣がある、そしてそれがこそ文化ではあるまいか</p>	

性病科

毎週日曜日發行
定價一冊一四五
年六十
廣告一行三十四
場所指定十四
印刷所
福島県平市六七
印刷所
福島県平市六七
印刷所
木村安次

内
矢吹醫院
電話八二八番
平市鍛田町
直接間接に裁判所に臨檢
抑收などの令狀が請求されるが改正され稅務當局は
法が實現すればこの間接權限をもたらせるものと見
られるが、昨年四月から稅

目標の九九・三%
直接稅が一本建になる
直接稅東部石炭二月の出炭量は目
標廿八萬トンに對し實績廿
七萬八千百八十二トン、遂
に目標十八萬一千九百八十
トンに對し十八萬四千卅九
トンの成績

查権をもたせる脫稅處分法
假稱)設定に進むことにな
り且下大藏、法務兩當局で
直接稅についても稅務官
講師は木村縣衛生課長外田
日まで受験者の講習會を常
期待は全く裏切られ努力に
對する効果の薄さに勇氣の
くじける事が再三あつた。
しかし文化運動が急速な
効果を望むのは正しくない。
早く忍耐強く積極的でな
ければならず、一面どうし
て人々が文化運動に乗つて
來ぬか反省しなければな
れば

査 稅 務 官 吏 に 搜 査 權	株式 關 水 社	常磐出張所 縫屋商店	試驗受驗講習會 炭礦衛生管理委員會	試驗受驗講習會 炭礦衛生向上平地方委員會	試驗受驗講習會 炭礦衛生向上平地方委員會	試驗受驗講習會 炭礦衛生向上平地方委員會
<small>多段ターピングボンブ 渦巻ボンブ 礦山用農事灌漑用 電話。一一四番</small>	<small>株式 會社</small>	<small>平市才穂小路二四番</small>	<small>平市五丁目</small>	<small>社告 渡邊幸助 諒承下さい 勵勞タイムス社</small>	<small>四日午前四時頃勿來町大日 本炭礦勿來坑貯炭場内の石炭が自然發火、石炭三百トントン一千九百八十二トン、遂に對し十八萬四千卅九</small>	<small>トントン一〇一・五%の成績</small>

具 体 化 す る 総 合 グ ラ ン ド		うえ二級運動場、三級運動場のいづれかに決め昨秋金澤市での国民大会は四市で行はれたこと、郡山市の縣會の誘致を目指す縣總合グランド建設計畫は体育關係者をはじめ縣會議員、各市長、縣部課長からなる設置委員の初會合が去る四日縣會議事堂に開かれたのを機会にいよいよ具體化への一歩を踏みだした、委員會は設工事費など協議した、また沿県會副議長座長のものと静岡の縣營總合グランドと市營新潟運動場を視察の	
十二 祝 祀 日 に 國 旗 揭 携 許 可 さ る		十二 祝 祀 日 に 國 旗 揭 携 許 可 さ る	
平 地 方 石 炭 國 管 善 備 委 員 會		平 地 方 石 炭 國 管 善 備 委 員 會	
三 日 明 治 節、十一月二十日新嘗祭、十二月二十日大正天皇祭		三 日 明 治 節、十一月二十日新嘗祭、十二月二十日大正天皇祭	
石 炭 局 長 に 齋 藤 氏		石 炭 局 長 に 齋 藤 氏	
聚 樂 館		聚 樂 館	
「ブームタウン」		「ブームタウン」	
油 田 の 大 爆 發 !!		油 田 の 大 爆 發 !!	
息 づ ま る 爭 扱 男 の 意 気 を 示 し た 大 作		息 づ ま る 爭 扱 男 の 意 気 を 示 し た 大 作	
九 日 よ り		九 日 よ り	
平 市 四 丁 目		平 市 四 丁 目	
關 內 藥 局		關 內 藥 局	
電話 四〇番		電話 四〇番	
平 東 寶		平 東 寶	
九 日 よ り		九 日 よ り	
「誰 が た ま に 金 は あ る ? 」		「誰 が た ま に 金 は あ る ? 」	
平 市 五 丁 目		平 市 五 丁 目	
好 期 年 度 來 ら せ ば !!		好 期 年 度 來 ら せ ば !!	
「お 産 の 映 畫 」		「お 産 の 映 畫 」	
三 月 十 日 よ り 十 二 日 ま で		三 月 十 日 よ り 十 二 日 ま で	
受 胎 よ り 正 常 分 娑 ま で		受 胎 よ り 正 常 分 娑 ま で	
醫 學 及 性 教 育 の 為 大 公 開		醫 學 及 性 教 育 の 為 大 公 開	
實 寫 映 畫 に 付 二 十 才 未 滿 の 男 子 入 場 出 来 ま せ ん		實 寫 映 畫 に 付 二 十 才 未 滿 の 男 子 入 場 出 来 ま せ ん	
當 日 は 混 雜 致 し ま す 故 須 賣 券 を 御 利 用 下 さ い		當 日 は 混 雜 致 し ま す 故 須 賣 券 を 御 利 用 下 さ い	
河 好 問 煙 煙 所 長 齋 藤 政 氏 を 示 し た 大 作		河 好 問 煙 煙 所 長 齋 藤 政 氏 を 示 し た 大 作	
九 日 よ り		九 日 よ り	
聚 樂 館		聚 樂 館	
「アーモニカ」		「アーモニカ」	
電 話 九 四 七 番		電 話 九 四 七 番	
今 尾 張 屋		今 尾 張 屋	
事 務 用 文 房 具		事 務 用 文 戻 具	
學 用 品 紙 製 品		學 用 品 紙 製 品	
（池 浦 清）		（池 浦 清）	
世 界 館		世 界 館	
（福島 独占封切）		（福島 独占封切）	
問 題 の お 産 の 映 畫		問 題 の お 産 の 映 畫	
神 秘 の 扇 道 に 開 く		神 秘 の 扇 道 に 開 く	
理 髮 と 美 容		理 髮 と 美 容	
「絹代の初恋」		「絹代の初恋」	
九 日 よ り		九 日 よ り	
平 館		平 館	
（佐 分 利 信 代）		（佐 分 利 信 代）	
「猛獸スラランゲ」		「猛獸スラランゲ」	
平 市 五 丁 目		平 市 五 丁 目	
電 話 九 八 九 番		電 話 九 八 九 番	
肖 像 畫		肖 像 畫	
（御 訂 文 は 本 市 本 町 四 丁 目）		（御 訂 文 は 本 市 本 町 四 丁 目）	
新 技 術 男 女 パ ー マ と 洋 髮		新 技 術 男 女 パ ー マ と 洋 髮	
（御 利 用 下 さ い）		（御 利 用 下 さ い）	
作 家 直 接 に 限 る。何 故 か?		作 家 直 接 に 限 る。何 故 か?	
外 交 員 か ら の 御 訂 文 は 作 家 に は 責 任 が 薄 く		外 交 員 か ら の 御 訂 文 は 作 家 に は 責 任 が 薄 く	
そ れ 故 に 良 心 的 な 作 品 は 出 来 得 な い		そ れ 故 に 良 心 的 な 作 品 は 出 来 得 な い	
（指 定 外 交 員 は 其 の 限 り あ ら ず）		（指 定 外 交 員 は 其 の 限 り あ ら ず）	
理 髮 と 美 容		理 髮 と 美 容	
「直 龍 軒」		「直 龍 軒」	
（婦 人 部）		（婦 人 部）	
電 話 五 五〇 番		電 話 五 五〇 番	
光 堂 商 店		光 堂 商 店	
（常 燭 線 平 市 本 町 四 丁 目）		（常 燭 線 平 市 本 町 四 丁 目）	
日 常 佛 具 品		日 常 佛 具 品	
（御 位 碑）		（御 位 碑）	
（御 製 造）		（御 製 造）	
（常 燭 線 平 市 南 町 五 〇）		（常 燭 線 平 市 南 町 五 〇）	
（常 燭 線 平 市 六 丁 目）		（常 燭 線 平 市 六 丁 目）	
（常 燭 線 平 市 二 三 丁 目）		（常 燭 線 平 市 二 三 丁 目）	
菊 屋 樂 器 店		菊 屋 樂 器 店	
（電 話 九 一 七 番）		（電 話 九 一 七 番）	
（管 樂 器）		（管 樂 器）	
（ハーモニカ）		（ハーモニカ）	